

## 8 B情報教育 公開授業指導案

<日時> 平成 13 年 11 月 14 日(水) 5 限 午後 1:30 ~ 2:20

<学年・組> 3 年 選択技術・選択英語合同(男子 8 名)

<題材> Kidlink を利用した海外との電子メールの交換

<指導者> 大阪市立昭和中学校 杉村 浩司、菊本 希代子

<ねらい>

新学習指導要領において、技術・家庭科では「ソフトウェアを選択して、表現や発信ができること」、および英語科では「伝言や手紙などから書き手の意向を理解し、適切に応じること」や「伝言や手紙などで読み手に自分の意向が正しく伝わるように書くこと」などの内容を指導することになっている。

その試行として技術・家庭科と英語科の合同による選択授業を行うこととした。まず、インターネットにある教育プログラムのひとつである Kidlink に参加し、海外の人と外国語で電子メールの交換を行う。このような学習を積むことにより、生徒は目的意識をもって、外国語およびコミュニケーションソフトの学習が自主的・主体的にできるようになり、世界や我が国の生活や文化についての理解を深め、そして、多様なものの見方や考え方が理解でき、自分の考えや意見が発表できるようになる。

<選択技術・英語の流れ>

- 1 時間目 4つの質問の意味の理解とその回答(パソコンを使わずに)
- 2 " パソコンを使って、4つの質問の回答
- 3 " 翻訳ソフト、電子辞書の使い方の説明
- 4 " Kidlink の Web 上での 4つの質問の回答
- 5 " 本時
- 6 ~ 10 " メール交換
- 11 ~ 15 " 4 Questions 以外への教育プログラムへの参加
- 16 ~ 20 " チャット、会議室への参加

< 本時の学習指導の展開 >

	指 導 内 容	指 導 上 の 留 意 点	時間
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールが来ているか確認させる。</li> <li>・ Netscape で電子メールを見る方法を確認させる。</li> <li>・ Web で Kidlink のライブラリを見る方法を確認させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ電子メールが来ておれば、学校代表メールアドレスから各個人のメールアドレスに転送しておく。</li> <li>・代表メールアドレスからの転送であり、教師がその内容を見ることができることを知らせる。</li> <li>・ブックマーク（お気に入り）の使い方を確認する。</li> </ul>	10 分
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールが来ておれば、そのメールの内容を理解させる。</li> <li>・メールに対する返事を考え、英作文をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールは、あくまで相手方が好意をもって行った行為であり、電子メールが来ないこともあることを知らせる。</li> <li>・電子メールの相手先の国のこと、相手方の思い、その国の文化的な背景を個別に指導する。</li> <li>・相手に自分のことをどのように伝えるかを考え、いかにそれを英語で表現するかを考えさせる。</li> </ul>	30 分
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メールが来ていなければ Web で kidlink の 4 Questions ライブラリを見る。</li> <li>・関心を持った内容があれば、その返事を考え、英作文をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記と同様に書き込まれた内容について個別に指導する。</li> <li>・相手に自分のことをどのように伝えるかを考え、いかにそれを英語で表現するかを考えさせる。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールについてのまとめ</li> <li>・それぞれのアプリケーションソフトの終了をさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電子メールはパソコンや英語を使っているコミュニケーションであることを理解させる。</li> <li>・作成した文章を必ず保存するようにし、完成した文章を代表メールアドレスに送るようにする。</li> </ul>	10 分